

立命館經濟學

第二十一卷 第三・四号

昭和四十七年十月

内 容

論 說

- 失業意識調査と最近の就業希望者の特徴……………関 弥 三 郎 1
戦時賃銀統制に関する研究(その二)……………三 好 正 巳 32

研究ノート

- 『資本論』における産業資本の直接的生産過程論 ……坂 本 和 一 93

翻 訳

- 西ドイツ經濟の軍事化……………振 津 純 雄 146
共同研究室…………… 195

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第二十一卷・第一号

論説

「均衡蓄積軌道」について……………甲賀光秀

研究

ウィリアム・ベティの

経済理論(下の二)……………稲村 勲

——市民革命経済理論の形成——

資料

社会主義のもとでの

「使用価値と価値」(三)……………声田 文夫

書評

狭田喜義『職能給の理論と方法』……………三好正巳

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十一卷・第二号

論説

経営者の在り方(一)……………足立政男

——老舗の家訓・店側から見た——

現代貨幣資本の検討……………小牧聖徳

——国家独占資本主義の貨幣資本供給——

研究

正規母集団であることの

検定について……………山田 弥

翻訳

ア・ゲ・グランベルグ「社会厚生目的

関数と実用国民経済モデルにおける

最適性基準」(上)……………小野 一郎

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会